

北いぶき



10月26日に開催されたJA女性部北ブロック支部長交流会
 詳細は8ページをご覧ください
 (中央：JA北いぶき女性部沼田支部 岡田支部長)

Contents

●令和2年産 米集荷状況について	2	●職員動態	9
●令和2年度産 新米試食会	3	●JAグループ通信	10
●農協法公布記念日にあたって		●青年部秩父別支部 令和2年度食育事業	11
組合員・役職員へのメッセージ	4	●女性部秩父別支部フレッシュミズ	
●絆 ～THE YOUTH FACE～	5	こども園へティッシュペーパー等寄贈	11
●第3回 農事組合長会議	6	●女性部沼田支部	
●第4回 現地研修会	6	Q-RENボディメンテナンス骨盤体操講習会	12
●令和2年度 農産物集荷作業安全大会	7	●沼田支所寿会 一夜研修	12
●北育ち元気塾 第5回研修会	7	●【秋の収穫感謝祭】3支所合同展示会	13
●沼田小学校 稲刈り体験学習	8	●営業時間の変更のお知らせ	13
●JA女性部北ブロック 支部長交流会	8	●PHOTO日より	14
●理事会報告	9		

令和三年産 米集荷状況について

今年度は、移植後の天候にも比較的恵まれ順調に生育しました。六月後半の低温日照不足の影響で、一株穂数が少なくなりましたが、七月上旬から中旬の天候に恵まれて、一穂穂数が多くなるなどの要素がプラスに働いた事と、総体的に適度な高気温の日が多かったため、登熟の最後の一押しとなりました。

作柄概況において、北空知は「一〇七」と発表され、二年連続平年作以上の年となりました。CE施設操業は、妹背牛地区の

九月二〇日を皮切りに、秩父別地区が二一日、沼田地区は二三日に開始致しました。

収穫作業は好天に恵まれ、順調に作業が進み、十月中旬頃にはほぼ収穫作業も終了しました。

今年度は、低タンパク米の出荷割合が平年より高く、品質・収量共に申し分ない出来秋となり、組合員皆様の御苦労が報われる豊稔の年となりました。

今年度も皆様のご協力により無事受入操業が終了いたしました事に感謝申し上げます。



カントリー3地区での受け入れ





高橋清治さん（秩父別地区・稲豊）



込山英毅さん（沼田地区・沼田東部東）



酒田拓也さん（妹背牛地区・妹背牛北）

十月二十九日、秩父別本所にて J A 役員・部長・支所長らによる 令和二年産の新米試食会が行われました。

用意された品種は、J A 北いぶき産「ななつぼし」、「ゆめぴりか」、「きらら397」と、新潟県産「コシヒカリ」の全四品種。それぞれ 外観・香り・味・粘り・硬さの五項目から判定しました。

各判定項目を数値化し集計をした結果、「ゆめぴりか」が最も評価を受けることになりました。



味や香りだけでなく、外観も評価します

令和二年産
新米試食会

農協法公布記念日にあたって

組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長

小野寺

俊幸



昭和二十二年十一月十九日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で七十三年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至つ

ております。

今年は新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが、世界的に感染拡大しており、こうしたコロナ禍において、道民に対し北海道農業から行動を起こすことで、農業と人、農村と都市、生産者と消費者（生活者）の関係のあり方を見つめ直していただくため、「AGRICULTION! HOKKAIDO（アグリアクションホッカイド）」と題した取り組みをJAGグループ北海道が一丸となつて行っています。

「AGRICULTION! HOKKAIDO」は、主に次の三つをテーマとした行動であり、まず一つは日頃、北海道産農畜産物を

食べていただいている感謝をしっかりと伝えること、次に食料自給率の重要性に関する理解促進と具体的な行動変容を求めること、最後により多くの方に気軽に農業に接する機会を増やしてもらう（パラルノーカー）ための国民に向けた情報発信であり、第二九回J A北海道大会で決議いたしました「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」と「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」、「次代につなげる協同組合の価値と実践」の一環として、しっかりと取り組んで参ります。

最後になりますが、JAGグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。



絆

～ THE YOUTH FACE ～



澤田 和貴さん

沼田地区・沼田東部東農事組合

作付品目
 水稻・麦・そば・トマト

農業選択のきっかけ

幼少期から家の手伝いと
 して農業に携わり、当時から
 家族の姿をみて「大き
 くなったら農家になりた
 い！」と農業に対して強い
 憧れがあり、就農しました。
 就農直後は、農業機械に
 苦戦しながらも、日々の発
 見から今では、一通りの作
 業が出来るようになりまし
 た。これからも農業に携わ
 る一人として日々尽力して
 います。

今後、農業をどのようにしたいか

今後は、法人の経営が主
 流になっていくと思いま
 す。今までの家族経営から、
 従業員を必要とする経営に
 変わることが予想されるた
 め、はじめて農業に携わる
 人でもわかりやすく、農業

に興味を持って貰えるように指導で
 きるようになり、しっかりと知識とコ
 ミュニケーションをとれるようにし
 たいと思います。

青年部活動

青年部活動では様々な事業があり
 ますが、なかでも沼田支部ならではの
 「夜高あんどん祭り」への参加は、
 一番好きな事業です。六月下旬から
 準備にかかり、八月の下旬の開催ま
 での期間、あんどん製作を行ってい
 ます。

先輩方からはあんどんについてだ
 けでなく、農作業について相談・勉
 強できる機会でもあり、農業に本格
 的に携わり始めた私にとって、これ
 以上にない情報共有の場となってい
 ます。これからも沼田支部の一盟友
 として頑張っていきたいです。

家族について

早く一人前になって少しでも楽を
 させてあげたいなと思っています。

その他

今年から麦、そば、米の施設で働
 かせて頂いています。農協職員と施
 設内での業務や会話をする中で、と
 ても勉強になる事がたくさんありま
 した。
 同時に私たち生産者は施設だけで
 はなく農協に携わるすべての人たち
 が同じように働いてくれているんだ
 など改めて思い、私も皆さんに少し
 でも生産者として恩返しをできたら
 と日々頑張っていけます！

そのためには日々手本である家族を
 みて勉強を積み、安心して任せても
 らえるように頑張ります！



昨年行われたJA空知青年部連合会北ブロック青年部大会ではスピーチを行いました



コンバイン操縦からトラックでの運搬までひとりで手慣れた様子での作業

第三回 農事組合長会議

九月七日、本所三階大ホールにて、第三回農事組合長会議を開催しました。

普及センターより、刈取りを目前に控えた水稲について生育状況を解説。今年の特徴としては、穂数は少ないものの一穂粒数は多く1㎡の総粒数は平年並みとなっており、特に「ゆめぴりか」につい

ては粒が大きく、平年作をやや上回る見通しと報告されました。

その他、JAより協議報告事項として、うるち米を巡る情勢・令和二年産小麦の集荷調製状況・令和三年播種用水稲種子の取りまとめ・農作業事故防止等についての説明をさせて頂きました。



秩父別地区



妹背牛地区



沼田地区

第四回 現地研修会

九月十日に妹背牛地区、十四日に秩父別地区、十五日に沼田地区にて第四回現地研修会を開催し、水稲の適期刈取判定が行われました。

普及センターより、水稲の生育状況を報告し、今年の傾向から刈取り時の注意点を紹介。また、収穫後にはしっかりと溝切りを行い、来年度に向けた圃場づくりをお願いしました。その他、JAからは「良質・良食味米栽培実証圃事業（ケイ酸質事業）」についてのご案内、また、収穫作業に関する事故について注意喚起をさせて頂きました。



JA職員による秩父別(左)・妹背牛(右)地区での適期判定



沼田地区での研修会

令和二年度 農産物集荷作業安全大会

九月九日、本所三階大ホールにて、令和二年産米の集荷を目前に北いぶき管内三地区のカントリー施設始動に向けて農産物集荷作業安全大会を開催。篠田組合長より、

「米が基幹作物である当JAのカントリー施設操業は、職員の使命とあって頂き、調製作業は組合員が雪の残る季節から育ててきた米の最後の仕上げとなるので、気を引き締めて臨んで頂きたい」と訓



JA篠田組合長より訓示

示が述べられました。その後、安全業務に向けて労働災害の概況、集荷施設・フォークリフト等の安全マニュアルについて資料を基に参加職員全員で確認しました。

安全宣言では、職員代表として妹背牛支所貯金共済課小本共済係長より、「職員一人ひとりが安全作業に心がけ、事故を起こさないように、最大の努力をする」と宣言されました。



安全宣言を行う小本係長

北育ち元気塾

第五回研修会

八月二十七日、令和二年度北育ち元気塾第五回研修会を開催しました。

JA北いぶき本所三階大ホールにて、水稻の生育状況診断の為に不稔調査、収量構成要素、刈取り適期について普及センター水稻担当職員より講習を受け、実際に「ななつぼし」「ゆめぴりか」の稲束を用意し、塾生の皆さんで不稔調査に挑戦しました。

その後、秩父別支所農機車輛課工場にて、コンバインの日常保守点検整備についてJA北いぶき施設事業部職員より、三四項目のチェックシートを活用し、実際のコンバインを前に一項目ごとに解説を受けました。

また、恒例の経営事例紹介では、雨竜町の北海道農業士 野原康文氏より経営についてお話を頂きました。「家族経営にこだわり、その範囲でいかに利益を出すか意識しており、そのため、成苗ポットで二四ha分の育苗ハウスを上限とし、水稻を作付けしている」など、具体的な内容で経営のポイントを教えて頂きました。



コンバインの点検について講習を受けています



実際に稲束を観察し触れ、その違いを確認しました

沼田小学校 稲刈り体験学習

九月二十三日、沼田小学校の児童が町内の水稲生産者圃場にて稲刈り体験学習を実施しました。沼田小学校の食育に係わる授業の一環として、例年行われている水稲に関する体験学習ですが、今年は児童による田植えは行えなかったため、稲刈り学習を非常に楽しみにしていた様子でした。

当日は小雨が降る中での開催となつてしまいましたが、児童たちは沼田町役場職員から手刈りでの



注意点や稲穂の束ね方など説明を受けた後、稲刈りを行いました。その後、小学校敷地の一角にて刈り取った稲穂のはさがけ作業を全員で協力して行い、体験学習での作業が終了しました。



鎌に注意しながら、慎重に刈り取ります



束ねた稲を次々とはさがけしていました

JA女性部北ブロッコ支部長交流会

十月二十六日、JAきたそらち女性部とJA北いぶき女性部（岡田久恵部長）のJA女性部北ブロッコ支部長交流会が沼田町のまちなかホットタウンにて開催されました。



そばをリズムよく切るJA北いぶき女性部妹背牛支部 田村支部長



「延し」の工程を行う
JA北いぶき女性部秩父別支部 我部山支部長

交流会では、沼田町の「沼田雪中そばクラブ」より講師に会長の川邊敏隆氏をはじめとする方々をお迎えし「そば打ち講習会」を実施しました。そば打ちは二人一組のペアとなり、そば打ち初体験の方も多く、講師の説明を真剣に聞き、ペアとなった方と「どうやったらうまくいくか」など、会話も楽しみながら和気あいあいとした交流となりました。出来上がったそばは、その場での試食はできませんでしたが、「見た目から美味しそうなものが伝わってくるから早く食べたい」と好評でした。

講習会の後はほろしん温泉に移動し懇親会を行い、それぞれの地区の行事などの情報交換をしたり、終始会話を弾ませていました。

理事会報告

第八回理事会（十月二日付）

【報告事項】

管理本部

○当面における農協行事予定について

○組合員の加入・脱退等の申し出について

○固定資産の取得・処分・主要修繕費の支出について

○実地棚卸及び棚卸資産再評価額の修正について

○組合員組織会計事務取扱要領の一部改正について

○準職員の動向について

○秩父別町防災行政無線デジタル化への更新に伴う今後の対応について

○長期資金の貸し出し状況について

○令和二年産米 施設別入庫状況について

○令和二年産米 施設別入庫状況について

○令和二年産米 花卉・野菜の取組及び販売状況について

購買施設事業本部

○購買施設事業実績検討表（八月末）について

【決議事項】

議案第一号

令和二年度上半期決算に係る監事監査報告書について

議案第二号
令和二年七月豪雨被害に係る寄付について

議案第三号
固定資産の取得並びに処分について

議案第四号
令和二年度寒冷地手当・燃料手当の支給について

議案第五号
特定組合員に対する貸付けの承認について

議案第六号
信用限度超過者に対する貸付けの承認について

信用限度超過者に対する貸付けの承認について

信用限度超過者に対する貸付けの承認について

【協議事項】

○信用限度八〇%を超える組合員への貸付けについて

○JA北いぶき農業振興計画策定協議会における意見について

○役員研修について

第九回理事会（十月二十九日付）

【報告事項】

内部監査室

○不祥事未然防止に係る自主点検の結果について

管理本部

○当面における農協行事予定について

○組合員の加入・脱退等の申し出について

○固定資産の取得・処分・主要修繕費の支出について

○農協職員に係る出資増口について

○職員の退職について

○長期資金の貸出し状況について

○「営農貯金」並びに「災害貯金」の推進日程について

○令和二年産米 施設別入庫状況について

○令和二年産米 施設別入庫状況について

○令和二年産米 花卉・野菜の取組状況について

○経営継続補助金について

○農事組合長会視察研修の実施について

○購買施設事業本部
購買施設事業実績検討表（九月末）について

【決議事項】

議案第一号

役員報酬審議会委員の委嘱について

議案第二号
防災無線管理規程の廃止、並びに職制規程類等の一部改正について

議案第三号
固定資産の解体並びに処分について

議案第四号
理事に対する利益相反取引の承認について

議案第五号
農事組合別組合員・女性部との懇談会の開催日程（案）について

○農業機械保管料並びに農機整備工賃の改定（案）について

○信用限度八〇%を超える組合員への貸付けについて

職員動態

□退職（十月七日付）

菅原 智也
（沼田支所生産資材課生産資材係）



JAグループ通信

JA北海道中央会



9月28日、JR札幌駅にて「フラワーキャンペーン～道産花き日常生活にプラス1～」を開催いたしました。

本キャンペーンは、北海道経済連合会とJAグループ北海道の主催で、新型コロナウイルスの感染拡大により需要が落ち込んでいる北海道産花きの需要を喚起することを目的として、お越しいただいた道民の皆さまに北海道産の花1,000束を無料配布いたしました。小野寺会長(JA北海道中央会)、真弓会長(北海道経済連合会)に加え、北海道のご協力のもと、鈴木知事にも応援に駆けつけていただき、1,000束の花全てを配布することができました。

皆さまも是非、ご家庭で北海道産の花を飾っていただくとともに、大切な人への贈り物などでも道産の花を取り入れて、花のある、そして華のある日常生活を楽しんでください。

JAグループ北海道は、「AGRIACTION!HOKKAIDO」(アグリアクション北海道)の一環として、今後も北海道産花きの消費拡大に取り組み、花き生産者を含む全道の生産者を応援していきます。



JA北海道信連



8月25日、バイオマスリサーチ株式会社(本社:帯広市)と北海道信連、農林中央金庫は酪農・畜産業へのバイオガスプラント普及に向けた連携協定を締結しました。3者が連携することにより、プロジェクトチームの組成、事業性評価とファイナンスメニューの構築に取り組み、ふん尿処理にかかる営農課題解決に加え、循環型で持続的な営農体系の確立と、エネルギーの地域循環の実現を目指してまいります。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取り組んでいます。

街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に活動しております。

今年度も札幌地区では9月23日に共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全運転を呼びかけました。



ホクレン



ホクレンは、「ホクレン大収穫祭」の一環として、北海道米「ゆめぴりか」計4tと、北海道産馬鈴しょ、玉ねぎそれぞれ計500kgを、札幌市内の児童福祉施設10カ所に寄贈しました。寄贈は今年で36回目。今年は新型コロナウイルスの影響で、札幌三越での会場販売が取り止めとなったことから、ホクレンの篠原末治会長が札幌市役所を訪れ、町田隆敏副市長に目録を手渡しました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。10月発刊の秋号においてはプレゼント付アンケートのコーナーもございます。是非、JA北海道厚生連のホームページをご覧ください。アンケートへのご協力をお願い致します。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容をご紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業

耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ <https://org.ja-group.jp/>



米作りの作業過程が細かく写真で紹介されています

青年部秩父別支部 令和2年度食育事業

青年部秩父別支部（佐藤宏樹支部長）の令和2年度食育事業として、町外からの利用も多いベルパークちつぶべつ内、ちつくろの館内一階にて「おコメができるまで」と題し、融雪作業から播種作業、田植え、稲刈り、お店に並ぶまでの過程を写真パネルで細かく紹介しています。写真には、藤



クイズも掲載！



岡誠さん（秩父別地区・稲豊）の一連の作業を撮りためたものを掲示しています。また、館内二階には、子どもたちも楽しめるお米に関するクイズを用意しました。

女性部秩父別支部フレッシュミズ こども園へティッシュペーパー等寄贈



園児の皆さんがそろって寄贈品を受け取っていただきました

九月十日、女性部秩父別支部フレッシュミズ（藤岡幸恵会長）は、今年も認定こども園ぐるみにティッシュペーパーとトイレトーパーを寄贈しました。

フレッシュミズの部員に寄付を募り、藤岡会長、西谷副会長、植田副会長の三名でこども園の園児のみなさんへ手渡しさせて頂きました。藤岡会長は「こども園のおかげで安心して仕事ができます。こども園での生活にお役立っていただければ幸いです。」と話し、園児たちからはみんな声揃えて「ありがとうございます！」とお礼の言葉を頂きました。

女性部沼田支部 Q・RENボディメンテナンス骨盤体操講習会

女性部沼田支部（岡田久恵支部長）は十月二十日、沼田町民体育館にてQ・RENボディメンテナンス骨盤体操講習会を開催し、部員二〇名が参加しました。

講師に、新十津川町のフィットネスインストラクター千石なつみ氏をお招きし、骨盤体操を教えてくださいました。

参加された女性部員の皆さんは体操の経験は多くありましたが、今回の骨盤体操のように一点集中型の体操は初めてという方が多く、参加者は真剣に先生の指導に耳を傾けていました。道具を必要としない体操だったので、参加者からは、「家でも簡単にできて、リラックス効果もあるようなので続けてみたい」という声もありました。講習が終わった後も、千石講師に体操についてアドバイスをいただいております、大好評の様子でした。



間隔を十分に取り、マスク着用で行われました

沼田支所寿会 一夜研修

沼田支所寿会（大西トシ子会長）は、十月十九日から二十日に幌新温泉にて一夜研修を開催し、十二名の会員が参加しました。

今回の研修では講師に沼田町役場保健福祉課の岡田明日美氏をお迎えし、「免疫力をつけるには」と題し、栄養講習をしていただきました。

新型コロナウイルスやこれから流行ってくるインフルエンザから身を守るためには、どのようなバランスで食事をとったらよいのか、免疫力を高めるためにはどのようなことをしていくべきか等、ご指導いただきました。講習の最後には旬の野菜を使った免疫効果のある料理のレシピを教えていただき、非常に有意義な時間を過ごす事が出来ました。



皆さん真剣に講習を受けています

【秋の収穫感謝祭】3支所合同展示会



工場前にはずらりとトラクターや農機車輛関連の部品が並べられました

十一月五日、秩父別支所農機車輛課にて、三支所合同の農機具・車輛等の展示会が開催されました。開催に当たり、出入り口での消毒・お客様へのマスク着用のお願い・施設内の換気等、新型コロナウイルス対策を実施しました。



工場内にも多くの農機具が陳列されました



～～営業時間の変更のお知らせ～～

令和2年11月1日からの営業時間について、下記の通りお知らせ致します。

区 分	曜 日	営業時間 (11月～)	摘 要
事 務 所 秩父別営農販売事務所 (融資経済課窓口含む)	平日	8:45～17:15	土曜・日曜・祝日は休業致します。
生 産 資 材 店 舗 農 機 車 輛 店 舗	平日	9:00～17:00	土曜・日曜・祝日は休業致します。
貯 金 共 済 窓 口	平日	9:00～16:00	土曜・日曜・祝日は休業致します。
貯 金 A T M	平日	9:00～18:00	
	土曜	9:00～17:00	
	日曜	9:00～17:00	本所(秩父別)のみの営業となります。
	祝日	休 業	土曜・日曜と重複する場合も全店舗休業致します。
ス タ ン ド	妹 背 牛 沼 田	平日・土曜	8:00～18:00
		祝日	8:30～17:00
		日曜	休 業
	秩 父 別	平日・土日・祝日	7:30～19:00
(株)まちづくりぬまた 物産サービスセンター	平日	8:30～17:30	
	土日・祝日	8:30～17:00	
ダ・マルシェ 沼田店	平日・土日・祝日	9:00～19:00	
(株)ホクレン商事 エコーブ秩父別店	平日・土日・祝日	10:00～19:00	※毎月1日・15日は9:00～19:00営業です。

PHOTO
だより

9月10日、
管理部職員による
災害時用発電機
稼働訓練を
行いました。



8月25日から
9月中旬頃にか
け、
令和2年産
そばの集荷を
行いました。



9月7日、第7次地域農業振興計画の策定に当たり、
JA北いぶき農業振興計画策定協議会を開催しました。



10月30日、沼田地区の廃ビニール等回収を行いました。
(妹背牛地区10月28日、秩父別地区11月5日)

コンプライアンス役員研修会



10月29日、
講師にJA中央会・
林主幹をお招きし、
役員コンプライアンス
研修会を開催
しました。



発行日 令和2年11月20日 発行元 北いぶき農業協同組合 北海道雨竜郡秩父別町1298番地の8 編集 管理本部 TEL 0164-33-2011 FAX 0164-33-3311 ホームページアドレス <http://www.ja-kitaibuki.or.jp/>